

年頭のごあいさつ

幌延町長 宮本 明



新年あけましておめでとうございます。
町民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、町政の推進に際し特段のご配慮とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年は、平成16年に単独・自立で町政を進めることを決定してから10年目の年になります。

当時は国の財政再建に伴い、地方交付税の見直しをはじめとした三位一体改革が推し進められる厳しい状況のなか、町民の皆様との懇談会を開催し、ご意見をいただきながら、町民と行政が一体となった「協働による町民主体のまちづくり」を進めることといたしました。

地方交付税等が削減されるなか、町が自立していくためには、財政の安定が必要不可欠であることから、公共施設利用料の見直しや経費削減などの行財政改革に取り組み、簡素で効率的な行政運営に努め、これまで、北星園や問寒別へき地保育所の建設、特別養護老人ホームこさくら荘の増床、町立診療所の開所、公営住宅の整備や町道のバリアフリー化、幌延町生涯学習センターの建設、地域情報通信基盤整備などの大きな事業を行いながら、この10年で「小さくてもキラリと輝き続けるまちづくり」を推進することができたと思っております。

平成26年度においても引き続き行財政改革に取り組みながら、よりよいまちづくりを進めていくこととしていきますので、そのなかからいくつか施策について紹介させていただきます。

産業の振興については、今後プレミアム商品券を発行し、地域振興を図るほか、家庭用LED照明の購入費補助や住宅用太陽光発電システム設置への補助を平成25年度に引き続き行い、再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの推進に取り組むこととしています。また、町の基幹産業である酪農に対しては、現在、JA幌延町で進めているコントラクター事業やTMRセンター事業への支援を検討しています。

保健・医療・福祉の向上については、平成27年度開園に向け、認定こども園の施設整備を実施するほか、中学生までの医療費無料助成や高齢者などを対象とした暖房用燃料費の助成、心身障がい者の方などへの通院交通費の助成を継続して行います。

教育文化の振興については、平成27年度の整備に向け、問寒別生涯学習センターの実施設計を行っているほか、総合体育館の老朽化等による改修に取り組むため実施設計を行うこととしています。

生活環境の向上を図るため要請を行っている国道40号線の天塩防災事業は、平成29年度の完了に向け、天塩大橋の架け替えを含めた整備が順調に

進んでいるほか、町道の整備についても計画どおり進んでいます。

なお、深地層研究センターの研究については、地下350mまで立坑の掘削が進み、周囲坑道を利用した本格的な調査研究が進められているところです。研究の成果が更に地元の活性化に結び付くことを期待しています。

第2次安倍内閣は、経済回復を最大の目標と掲げ、デフレ脱却を目指した取り組みを進めているところです。日本経済の景気見通しは、アベノミクスの影響により著しく回復していると評価されていますが、地方経済は依然として景気の回復感が乏しい状況にあります。また、円安による物価の上昇や電気料金の値上げ等、個人生活においても厳しい状況が続いています。

社会、経済の構造が激しく変化している昨今、町の前途は多難です。しかし、わたくしたちは、先人が開拓の苦難を乗り越え築き上げてきたこの郷土を町民の誇りとして未来に継承していく責任があります。産業の振興、保健・医療・福祉の向上、教育文化の振興や生活環境の向上など、取り組むべき課題は山積していますが、事業の優先度を見極め、お年寄りの知恵と若者の活力、女性の視点を取り入れ、さらに元気な町づくりを進め、夢と希望を持って暮らすことが出来るよう、全力を傾注してまいりますので、本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年が幌延町と町民皆様にとって、最良の年となりますよう心よりお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

平成26年 元旦

